

9 <ナイン> ～9番目の奇妙な人形～ (2009)

9

メディア 映画 アニメ

ジャンル ファンタジー アドベンチャー SF

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 80分

初公開日 2010/05/08

公開情報 ギャガ

映倫 G

【キャッチコピー】

目覚めると、世界は終わっていた。

【解説】

奇才ティム・バートン製作で贈るダーク・ファンタジー・アニメ。2005年のアカデミー賞短編アニメーション部門にノミネートされた11分の同名短編を、同作を手掛けた新鋭シェーン・アッカー監督自ら80分の長編へとスケールアップ。人類滅亡後の荒廃した未来を舞台に、9体の奇妙な人形たちが巨大な機械獣と闘いながら、いくつもの謎も次第に明らかとなっていくさまをデカダンな世界観で描き出す。声の出演は「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズのイライジャ・ウッド、「ビューティフル・マインド」のジェニファー・コネリー。

古びた研究室の片隅、麻布を縫い合わせて作られた奇妙な人形が目を覚ます。その腹部には大きなジッパー、背中には数字の“9”が描かれていた。ところが、彼は自分が誰でどこにいるのかも把握出来ない上、外に出てみるとそこは一面廃墟という有様。すると、そんな彼の前に、背中に“2”と描かれた人形が現われる。そして、彼は9の壊れていた発声装置を修理し、我々は仲間だと語りかけるのだった。だがそのさなか、巨大な機械獣が出現、2がさらわれてしまう。一方、他のナンバーをつけた人形たち、リーダーの“1”、人のいい職人の“5”、風変わりな芸術家“6”、腕力自慢の“8”に気を失っていたところを助けられる9。しかし、みんなで2の救出に行こう、という9の提案は1に却下されてしまう。それでも諦めきれない9は5を誘い、2を救出すべく機械獣たちの住み処を目指す。

【クレジット】

監督	シェーン・アッカー	Shane Acker	
製作	ティム・バートン	Tim Burton	
	ティムール・ベクマンベトフ	Timur Bekmambetov	
	ジム・レムリー	Jim Lemley	
	ダイナ・ギンズバーグ	Dana Ginsburg	
原案	シェーン・アッカー	Shane Acker	
脚本	パメラ・ペトラー	Pamela Pettler	
音楽	デボラ・ルーリー	Deborah Lurie	
テーマ曲	ダニー・エルフマン	Danny Elfman	
声の出演	イライジャ・ウッド	Elijah Wood	# 1
	ジェニファー・コネリー	Jennifer Connelly	# 7
	クリストファー・プラマー	Christopher Plummer	# 1
	ジョン・C・ライリー	John C. Reilly	# 5
	クリスピン・グローヴァー	Crispin Glover	# 6

マーティン・ランドー
フレッド・タタシヨア

Martin Landau
Fred Tatasciore

2
8 / ラジオ・アナウンサー